

とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



第 4 回りんく塾の様子



第 4 回「りんく塾」を開催しました。

平成 30 年 1 月 29 日（月）18：30～20：00（豊平区民センター）
平成 29 年度、第 4 回「りんく塾」を開催いたしました。
医療・介護関係者等、39 名が参加されました。

公益財団法人在宅医療助成
勇美記念財団 助成による

ACP導入研修の進め方

西岡メディカル薬局の庄田和秀専務取締役が1月27日（土）に開催した社内研修会の様子をご報告いただきました。

研修会のゴールを「患者様と関わるスタッフ一人ひとりが職種に関係なく皆 Player になる」として、アドバンス・ケア・プランニングの基礎知識やロールプレイに取り組んだ内容を報告いただきました。

ACP 導入に向けて調剤薬局として、投薬時に ACP について意識を持って取り組むことや訪問薬剤指導・服薬指導などの様子を主治医など多職種にフィードバックすることを今後さらに取り組みたいとの課題もあげていただきました。

≪当日スライド一部≫



西岡メディカル薬局

庄田 和秀 専務取締役

< 研修の目的と内容 >

- とよひら・りんくの活動内容から多職種連携について理解を深める
- アドバンスケアプランニングとは
- 調剤薬局におけるACP導入の重要性
- ロールプレイ

< ゴール >

患者様と関わる
スタッフ一人ひとりが
職種に関係なく
皆PLAYERになる

西岡メディカル薬局

< 参加者の感想 >

- エンディングノートが流行しているのと同じく、もっと重要なのがリビングウィルだと思った。知らない人が多いと思うので、もっと患者様などに広めていかなければいけないと思った。ICTが早く広まればよいと思った(薬剤師)
- 相談する・される役になりきってみた事が、とても面白く勉強になった。事務としてどのような答え方ができるのか改めて考える機会となった(事務)
- ACPが何かを知れたことで自分でもできることを探してみようと思う。最初は難しく考えていたが話を聞いて自分にもできることがありそう(薬剤師)

研修内容について

大変参考になった	17
参考になった	15
難しかった	1
理解できなかった	0

西岡メディカル薬局

続いて、西岡病院の西川奈美看護師長に院内での ACP 研修の様子をご報告いただきました。

アドバンス・ケア・プランニングは院内全体の取り組みとして、研修会は全職種を対象、ロールプレイでは、相談役・患者役・記録係の 4 つの役割で実施された様子を報告いただきました。

今後、電子カルテ内への記録方法や記載内容（ACP と EOL の内容）、継続した研修会の機会の確保などもあげていただきました。



西岡病院 西川 奈美 看護師長

《当日スライド一部》

ACP導入研修会 成果		1回目	2回目	3回目
●理解度について 1～6点で評価 (6点満点)		回収率 92.3%	回収率 100%	回収率 90%
1.りんく塾の目的	4.33	4.54	4.83	
2.ACPとは	4.69	4.46	5.00	
3.ACP内容記載方法	3.83	4.19	4.45	
4.ロールプレイ	4.13	4.27	4.70	

●アンケートのフリーコメントより

- ・多職種が参加したことでACPの内容の理解を深める良い機会となった。(医師)
- ・面談内容を第三者に評価してもらい、足りない点を聞ける貴重な経験となった。(看護師)
- ・相手の立場になって考えることが大切だと考えた。(コメディカル)

課題

- ・ ACPの下地作りは今後も継続して行うことが必要
- ・ 面談を行う上でスキル（技術）が必要
- ・ 各部署の状況にあったACPのロールプレイを継続して行うことが重要
- ・ 記録方法の統一が必要



【アンケート】（一部）

- ・ 特に薬局での課題、ニーズが見えてきた（医療機関・医師）
- ・ いろいろな職種、立場の人が参加されており、良い取り組みだと思いました（医療機関・医師）
- ・ 病院側からの調剤薬局への情報提供の方法や調剤薬局からの情報のフィードバックなどの検討が必要だと思いました（病院・看護師）

ACP 導入研修(応用編②)

ACP 導入編の第3弾として、応用編②を行いました。厚生労働省人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会や人生の最終段階における医療に関する意識調査を紹介し、ロールプレイを行ったのち、今後の各機関での課題を話し合いました。



札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会

とよひら・りんく

Home ごあいさつ 事業案内 活動報告 広報誌 療養支援 リンク

とよひら・りんく

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会(通称「とよひら・りんく」)は、札幌市豊平区西岡・福住地区において、地域の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護福祉士等による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すとともに、今後の在宅医療の発展に貢献することを目的に設立されました。

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

訪問薬剤指導
主治医意見書開達
ご自宅でご家族を看取られる方へ
人生の最終段階における医療
ACP相談シート
ACP導入研修

ACP 導入研修会の資料をホームページに公開しています。

当会ホームページ (<http://www.toyohiralink.jp/>)→療養支援ページ(左側参照)に「りんく塾」で使用した研修資料を公開しています。各医療機関、施設、事業所の状況に合わせ、各機関で取り組んでいただければと思います。研修資料内容などのお問合せは下記事務局までお問い合わせください。

※次回は3月26日(月)18:30～20:00 合同会議(豊平区民センター)です。